

大学入学共通テスト会場（東京福祉大学）について

【伊勢崎駅からバスを使う人】



①伊勢崎駅南口（外観）

←このバスです！



②南口から外へ出て
2番バス乗り場へ



③「2番のバスのりば」から
「本庄駅北口」行きのバス

時刻表を確認する
十王自動車株式会社

https://www.juo.co.jp/route_bus/





④「東京福祉大学」停留所
大学に横付けにされるので、降りたくなるところですが、**ここで降りると正門入り口まで、ぐるっと長い距離を歩くことになります。**この後バスは大学を後にするので不安になりますが、次の停留所「東京福祉大学前」が最寄りです。



⑤「東京福祉大学前」停留所
奥に見える信号を渡って、右折すれば東京福祉大学正門です。



⑥東京福祉大学正門
バスで来る人も車の送迎で駐車場から来る人も、みなさん左下奥からの歩道を歩いてやってくるようになります。
入り口で受験票の確認があります。さらに入ったらすぐ掲示板で試験会場を確認しましょう。

【車で送迎の人】



①太田方面から来た場合
(大学正門前の県道142号を東→西)
東京福祉大学を右側に見ながら
正門を通り過ぎた最初の信号
です。

この信号を越えて20～30m先右
側が駐車場入口です。

(＊伊勢崎方面から来た場合は信号
手前のお蕎麦屋さん(左側)を目印
にしてください)



②信号を越えるとすぐ、右側に
駐車場入口が見えてきます。

「東京福祉大学 学生用 駐車場」
看板の手前、電柱の向こうの細
い砂利道を進入してください。

すぐ奥の「P」(左下)はお蕎麦屋
さん(「伊勢とよ」さん)の駐車場
です、そこには停めないよう
お願いします。

※ 朝は大学の誘導員がいる予定ですが、十分気をつけてください。



③左右広々と駐車スペースがあり
ます。入って右側が大学側に近い
です。歩行者に限ってこの写真奥
から出入りできます。試験終了時
刻頃は相当暗いので待ち合わせ
の打ち合わせをしておくといいで
しょう。また車の出入口がひとつし
がなく、帰りは駐車場から出るの
に非常に混雑するらしいです。

【航空写真】



大学入学共通テストを終えて ～後輩へのアドバイス～

1 学習以外、特に精神面でのセンター試験までのアドバイス

- ・前日はゆっくりお風呂に入ったり温かいご飯を食べたりしてリラックスするべき。
- ・最後まで諦めなかった事が意外とテストに出ていて感激。最後の最後に伸びる。諦めないで！
- ・緊張しているのは自分だけじゃないということを心に留めて、「大丈夫、できる」と自分に言い聞かせる。
- ・良い点数をとれた自分を想像してモチベーションを上げる。
- ・隣の席の人の、計算する音、丸を付ける音、線を引く音、ページをめくる音、とにかく音が気になりました。
- ・学校でよい友人関係を作るべきだと思います。「受験は団体戦」とよく言います。当事者になるまでこの意味が分からないと思いますが、本当にそうだと思います。クラス一丸となって共通テストに向かえたこともあり、最後まで全力を保ち続けられました。

2 学習以外の事前準備でうまくいった事や、やっておいてよかったこと

あるいは、失敗した事や、やっておけばよかったと後悔したこと

- ・今までやってきた問題を復習して当日簡単に見られるものを作っておく。
- ・荷物は控え室に置くことができないので、試験室にすべて持っていき試験中は椅子の下に置いておく。
- ・時計が紙で隠されているので時計は持った方がいい。(壊れた時のために予備と2個持って行った方がいい)
- ・終わる10分前に「試験終了まであと10分前です」って(放送で)言われる。(毎回心臓が縮んだ。驚かないように。)
- ・あったかいものを持っていく(ホッカイロやお茶など)。カイロや食べ物を多めに持って行ってよかったです。室内は暖かくても足元は冷えていたので脚用のカイロがよいと思います。貼るかどうかは会場で判断する。
- ・お昼ごはんは眠くなるため半分しか食べなかったけど、逆にリスニングで時間が長すぎてお腹が空いてしまい集中できなかった。

3 試験当日の行動でこれだけは後輩に伝えたいこと

- ・直前の休み時間で友人と見た英単語がたくさん出ました！ 始まる直前まで学力は伸びると思います。
- ・早めに会場に着いて1時間くらい今までやってきたことの復習を軽くできると気持ちが落ち着いていいと思います。
- ・解けなかったと思っても「私ができなかったんだからみんなもきっとできなかったにちがいない」って言い聞かせる。
- ・得意科目は慎重に(問題をよく読む。選択肢を最後まで確認する。慎重になりすぎて時間を超過しない)
- ・点数が取れなかったらどうしようという不安が増してしまい、普段はそんなに時間がかからなかった問題も本番慎重に考えすぎてしまって焦ってしまった。
- ・電子機器は試験以外の休み時間に使っても平気だから、リスニングの前とかにスマホで(英語の)音声とか聞いていたほうがいい。

4 東京福祉大学会場でこれだけは後輩に伝えておきたいこと

- ・思ったよりも部屋の暖房が暑いから自分で（衣服を）調節する。カイロとかは貼らない方がよい。貼って後悔した。
- ・外は寒くても会場内は暑いからヒートテックなどではなくても衣服は着脱しやすいものがお勧め。
- ・試験の会場は暑いので常温の（か冷たい）飲み物があるといいです。
- ・会場が暑いのと緊張で手汗が出て大変という人が沢山いたので試験中も机の上に置いておけるのでハンカチは絶対に持って行った方がよいと思います。ポケットティッシュだと足りない人は箱ティッシュを持って行った方がよい。（メガネ、ハンカチ、目薬、中身のみのティッシュペーパーは机の上に置けます。）
- ・服装はすぐ脱いだり着たりできるものがないと思います。制服の子も多かったですが、太女のジャージや部活のジャージを着ている子もいました。慣れた服装で行きましょう。
- ・エアコンの風が当たって顔が熱くなって頭がボーっとしてしまうことがあるので、脱ぎ着できる服装とおでこに当てられるような冷たいものを持っていく事をお勧めします。冷えピタを張ったまま試験を受けることも可能。
- ・空気が悪く、1日目は頭痛が激しかった（異常なレベルで空気が悪く頭痛に襲われる人多数）。休み時間は外の空気を吸うなどするとよい（頭痛薬は絶対持って行った方がよい）。
- ・トイレが少ない(狭い)ので時間に余裕を持って行った方がいいと思う。
- ・試験が終わった直後に混みますが休み時間が十分にあるので心配ないです。少し時間をずらして行った方がよいです。

5 上記以外で、これだけは後輩に伝えておきたいこと

- ・苦手科目も本番で伸びる(意外な教科が身を助けてくれる)ということもあるので諦めない(見捨てない)で対策するのが大切だと思います。分からなくてもとりあえず埋めておく。終了まで諦めない。見直しは正確に。
- ・本当に最後まで諦めない事が大切！！最後まで粘れば共テが終わった後も次へすぐ切り替えられます。
- ・会場に着くまでカイロで手を温めておいたので控室ですぐ勉強に取り組みました。
- ・解く前に深呼吸！！焦ってどんどん悪い方向に行ってしまうから落ち着くことを心がける。
- ・本番は終わった教科の事は一切考えないで次の教科に集中する。二日目の全ての教科が終わってからなら振り返ってもいいと思います。終わった科目はもう考えない。
- ・試験の前に受験番号・氏名・選択科目などのマークをするよう指示が出たので、その点の心配はほぼ不要と考えていいと思います。一つ一つが丁寧で準備の時間が長い。
- ・何かあったらためらわずに手を挙げる。試験前にちょっとでも分からない事があったら試験官がぐるぐるしているから聞きやすい。質問はしやすいですが、質問する監督者は選んだ方がよいと思います。怖い人だと精神を乱されます。
- ・問題冊子が入っている袋がとてもあけにくかったが、開かなかったら開けてくれるので、焦らず手を挙げて試験官に開けてもらって下さい。問題訂正は板書されますので遠くが見えない(後ろの席の人)人はメガネがあるとよいです。
- ・試験中でも試験官同士が結構しゃべる。
- ・休み時間に友達と話したりして緊張状態から解放させる。